

箕輪町 議会だより

みんなのぎかい

Minowa Town Assembly News

第92号
2025.5.1



福与・観音原からの眺め

特集

持続可能なまちとは … P2・3

— 令和7年度予算をみる —

CONTENTS

- 3月定例会で決まったこと …… P4・5
- 議会活動日誌・研修視察報告 …… P5
- 審査のなかみ …… P6・7
- 町政のここが聞きたい！
一般質問 …… P8～22
- 「議員と語ろう」住民懇談会 …… P23
- 自治のチカラ・モニターの声 … P24



議会ホームページ

▶ 一般質問の様子を動画で！

各議員の二次元コードを読み取ると動画を視聴できます。

令和7年度 予算

町が目指す姿——
「町発足70周年 未来へつなぐえがく
持続可能なまちづくり」

可決

令和7年度一般会計予算ほか特別会計、企業会計
が賛成多数で可決されました。

一般会計

121億8,000万円

前年度比7.4%減

教育、福祉、道路整備など、主に基本的な
行政サービスを行う会計。

特別会計

49億6,370万円

前年度比2.4%増

国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険の
各事業運営を行う会計。

公営企業会計

14億8,882万円

前年度比0.8%増

上下水道事業運営を行う会計。

総額

186億3,252万円

前年度比4.3%減

詳細は「みのわのみ4月号」か町ホームページでご確認ください。

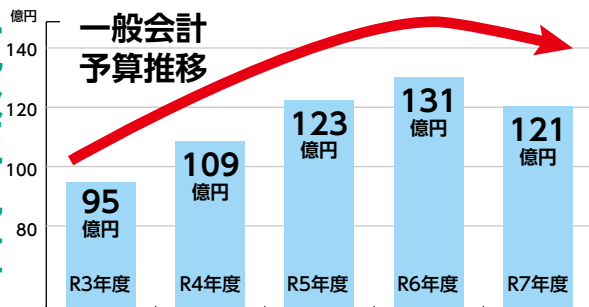
主な歳入（）内は前年度比

町税	35億8,200万円(1.1%増)
・個人町民税	… 14億3,862万円(0.4%増)
・法人町民税	… 2億3,172万円(10.8%減)
・固定資産税	… 16億 868万円(4.1%増)
地方交付税	27億2,000万円(4.6%増)
国庫支出金	13億2,097万円(25.8%増)
町債(借金)	10億1,000万円(55.3%減)



町税全体は、前年度比1.1%増の見込みだが、うち町民法人税は世界情勢などの影響により10.8%の減を見込んでいる。物価高騰などで税収の予測が難しく、注視していく必要がある。

一般会計予算と町債の推移



予算の連続的な拡大は止まったが…

町民体育館・武道館改修、郷土博物館改修やゼロカーボン事業など大型事業が続き、4年連続で上昇してきた予算。大型事業の完了や、事業の選択・見直しなどで、前年度比9億6,900万円減となった。町財政の重要な指標の1つ「町債の現在高」は、令和6年度は25億円以上増加した。令和9年度まで上昇の見込み。

町債は財政力に応じた未来への投資でもあるが、町に残る借金でもあり、過度に多くなり過ぎてはいけない。残高について注視をしていく必要がある。



町債(地方債)とは？

公共施設建設などの財源として、町が金融機関等から借り入れる長期の借入金。通常、債務の返済は会計年度を越えて行われています。

みなさんの声が予算に
反映されました(一例)



医療施設整備補助

町内に皮膚科・産婦人科の
医療機関を誘致して欲しい

3,000万円

今年7月
開院予定



公園のあり方検討事業

きちんと整備がされ、幅広い世代が
楽しめる公園が欲しい

50万円



農業経営基盤

パワーアップ事業補助金

農業の担い手確保に
取り組んで欲しい

500万円

災害対策 少子化・人口減少対策

※主な事業を抜粋

災害に強いまちづくり

社会体育館大規模改修工事 2億5,213万円
耐震性防火水槽整備(2カ所) 3,309万円
住宅・建築物耐震改修 1,336万円
消防団詰所耐震診断 253万円
みのわ防災フェスタ 128万円
災害時外国人支援事業 84万円
(特別会計)
重要施設上下水道耐震化 2億9,760万円

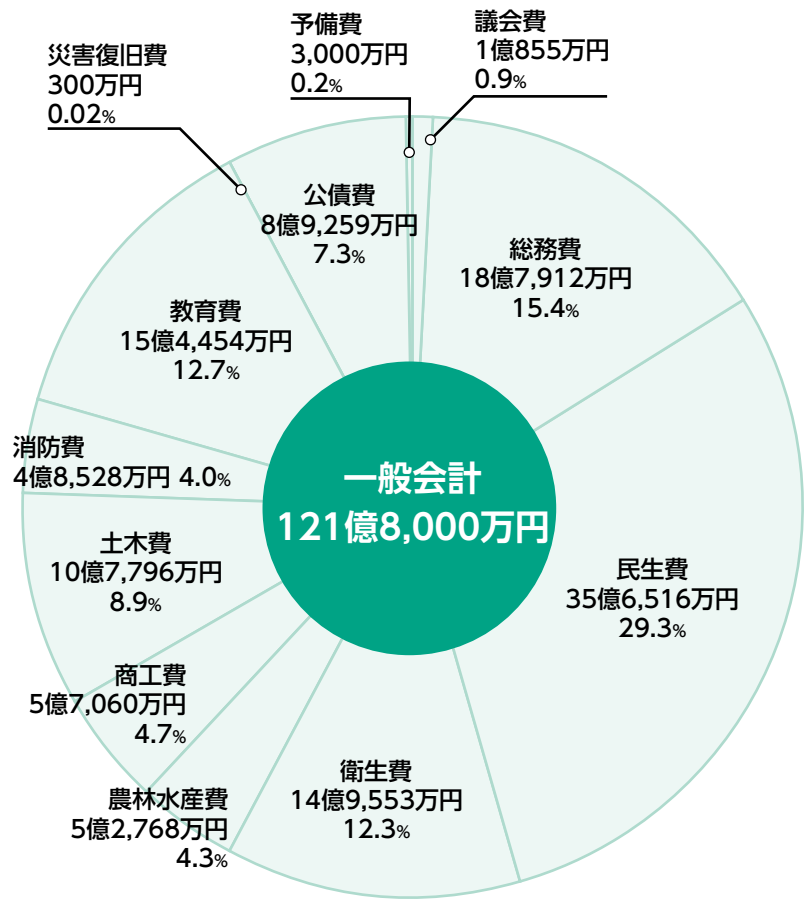
人口減少対策

若者世帯定住支援奨励金 2,646万円
移住体験ツアー等 302万円
箕輪町の未来を担う世代応援金 200万円

町発足70周年記念事業関連



記念式典など記念事業 990万円
箕輪町ふるさと検定(仮称) 21万円



少子化対策・子育て支援関連

子育て支援センター園庭整備事業 5,562万円
乳幼児用おもちゃ用品購入助成事業 1,778万円
子育て応援小中学校入学祝い金 1,620万円
こどもまんなか社会普及啓発事業 327万円
ひとり親等の子の大学受験料等補助金 67万円
全妊婦を対象にした出産準備教室 5万円

令和7年度予算に対する

議員の視点

皆さんが望む町の姿が見える予算になっているか、議員それぞれの視点で審議しました。



こどもまんなか社会の令和7年度の目標は明確か。

子ども向けのイベントを通じて脱炭素の必要性を訴えるのは、大人のビジネス目的ではないか。

高齢者・生活弱者への物価高騰対策が見えづらい。

CO₂排出削減の中で今できることを最大限行っているか。

業務委託が増加。内容の精査・適正な業者選定・成果の検証がされているか。

将来的な財政状況が見えづらい。



賛否が分かれた審議

■提案の趣旨 令和7年度箕輪町一般会計予算 ■提出者 町長

入杉百合子	小出嶋文雄	南 朋子	平出 広志	小口 智世	中村 政義	中澤 清明	上田 学	北野めぐみ	金澤 幸宣	白鳥 真吾	中野 友美	岡田建二朗	寺平 秀行	荻原 省三	結果
○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	可決

予算の中にはゼロカーボン施策だけではなく、生活に密着した施策もある。



ゼロカーボン施策は太陽光発電のみに偏り過ぎ。町のイメージアップにはつながらない。



3月定例会で こんなことが決まりました

決定!

2月28日から3月17日までの会期で開催されました。
令和7年度予算、6年度補正予算、条例改正など全
35議案を審議し、原案どおり可決しました。

補正
予算

災害対策用消耗品・備品・
防災倉庫設置 **増**

ベビーケアルーム2基、パーテーション1,550基、
防災倉庫6基等を国の交付金を活用して整備

6,674万円



ベビーケアルーム



パーテーション



ワンタッチベッド

請負契約

ゼロカーボン推進
公共施設整備工事

請負者 日之出建工株式会社

総額 2億3,430万円

中部・東・西小学校、
ファームテラス、
産業支援センター
みのわに太陽光発
電・蓄電池設備整
備工事の請負契約

変更請負契約

箕輪橋橋梁補修工事

現契約金額 5,555万円
変更金額増 1,626万円
変更後金額 7,181万円

主な変更点

- ①橋鋼板接着内部への接着注入剤の増加
- ②鉛塗料の飛散防止のための防護施設設置



条例制定

箕輪町犯罪被害者等支援条例

犯罪被害者等が受けた被害の早期回復及び軽減、生活の再建等を図り、誰もが安心して暮らせる社会の実現に関するもの

箕輪町立小中学校将来像検討審議会設置条例

町内の児童生徒を取り巻く環境の変化を踏まえ、小中学校の将来像についての審議会を設置するもの

▶P7「審査のなかみ」参照

箕輪町安全安心なまちづくり条例

犯罪、事故、災害を未然に防止し、安全安心で心豊かに暮らせるまちの実現のためのまちづくりに関するもの

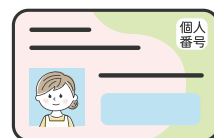
箕輪町町誌編さん委員会条例

町の過去を見つめ直し、新しい時代を拓くため、現代史の観点から新しい町誌の編さんを開始するもの

陳情

※採択の結果、意見書を提出

- 現行の健康保険証を存続させ
マイナ保険証との両立を求める
(提出者 上伊那医療生活共同組合)



入杉百合子	小出嶋文雄	南朋子	平出広志	小口智世	中村政義	中澤清明	上田学	北野めぐみ	金澤幸宣	白鳥真吾	中野友美	岡田建二郎	寺平秀行	荻原省三	結果
○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	×	-	採択

- 持続可能な学校の実現をめざす
(提出者 箕輪町公立学校教職員組合)



意見書

- 高額療養費制度の上限額
引き上げの撤回を求める
(提案者 岡田建二郎)
- 子どもを安心して産み育て
られる環境整備を求める
(提案者 中野友美)

条例一部改正 (賛否が分かれた審議)

箕輪町下水道条例及び農業集落排水処理施設の
設置・管理に関する条例の一部改正について(提出者 町長)

下水道、農業集落排水
処理施設の使用料を約
10%値上げするもの

10%
値上げ

入杉百合子	小出嶋文雄	南朋子	平出広志	小口智世	中村政義	中澤清明	上田学	北野めぐみ	金澤幸宣	白鳥真吾	中野友美	岡田建二郎	寺平秀行	荻原省三	結果
○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	-	可決

ココに注目!

物価やエネルギー価格が高騰している中で、公共料金の値上げはさらなる負担増になるが、将来にわたる経営健全化を図るためやむを得ない。



人事案件

箕輪町 教育長の 任命(再任)

小林 久通氏
(松島)



指定管理者指定

箕輪町公の施設の指定管理者の指定

障がい者活動支援センター「みのわ〜れ」	労協ワーカーズコープながの	R10年3月31日まで
信州かやの山荘	株式会社みのわ振興公社	R 8年3月31日まで
箕輪町立萱野高原亜高山植物園	株式会社みのわ振興公社	R 8年3月31日まで
箕輪町ながた自然公園	株式会社みのわ振興公社	R 8年3月31日まで
箕輪町農産物加工施設	みのわ加工株式会社	R10年3月31日まで

議会活動日誌

活動の一部を紹介します

12日	町消防団出初式
15日	ペーパーレス会議システムデモ
16日~17日	議会運営委員会行政視察
17日	町商工会新年を語る会
20日	定例協議会
22日	町村議会広報研修会
27日~28日	議会活動活性化委行政視察
28日	宮崎県三股町文教厚生常任委員会行政視察
30日	臨時議会
31日	伊北正副議長局長会
3日~4日	グループ研修(徳島那賀町)
5日	こども・若者審議会
7日	農業委員会と議会の懇談会
10日	上伊那広域水道用水企業団定例会
13日	議員研修会 南箕輪村役場2階講堂 観光パンフレット作成委員会 文化財保護審議会
14日	商工会建設業部会懇談会 農業振興地域整備促進協議会 国民健康保険運営協議会
15日~16日	庄内協働センターまつり
17日	箕輪町観光協会推奨土産品認定審査会 「議員と語ろう」住民懇談会
18日	3月定例協議会
19日	企業振興審議会 空き家等対策協議会 町村議会議長会定期総会
20日	農事組合法人みのわ営農通常総会 令和6年度DX期末総会 博物館協議会 交通安全協会定期総会
25日	箕輪町観光協会2024フォトコンテスト審査会 総合福祉計画策定評価委員会
26日	上伊那広域連合定例会 地域包括ケアシステム推進協議会及び地 域包括支援センター運営協議会
27日	社協理事会 消防委員会
28日	3月定例会初日
10日~11日	3月定例会一般質問
12日~14日	3月定例会委員会審査
13日	箕輪町環境審議会
17日	3月定例会最終日
19日	社協評議委員会 社会教育委員会議
21日	観光商品開発等支援事業補助金採択事業 報告会 防災会議委員の委嘱と防災会議
24日	伊那中央行政組合3月定例会

P23
を見てね

議会運営委員会 (群馬県吉岡町・埼玉県嵐山町)

主に予算や決算の審議に対し、特別に委員会を設置している自治体を視察。2つの委員会に分かれ、その分野別に、質問回数制限なく審査する当町の方が、審議は深まるのではとも感じた。

■吉岡町議会：付託された委員会に所属していない議員は予算審議できないという課題のため「予算決算常任委員会」を設置し全議員で審議。

■嵐山町議会：本会議のみの審議で課題が多かったため、「予算決算特別委員会」を設置。質疑は事前通告制で1人の議員は3回まで。

参加議員 中澤、北野、入杉、中村、岡田、荻原

議会活動活性化委員会 (神奈川県葉山町、愛川町)

議会基本条例の検証や、住民との意見交換会の取り組みについて視察。

いずれも、実施後の議会の対応が明確になっており、やりっぱなしにしない仕組みの構築が箕輪町議会として参考にするべきと感じた。

■葉山町議会：検証は、条例のとおり「できているか」を段階評価し、その結果を報告していた。

■愛川町議会：意見交換会での要望は「回答を求めるか否か」を判断し、一年間でどれほど改善、達成されたのかフィードバックもされていた。

参加議員 寺平、上田、入杉、中村、中澤、北野、岡田、荻原

グループ研修 (徳島県那賀町)

■橋本山林の自伐型林業

災害に強い山づくりの達人・橋本さんの山は、年間雨量3,000mmでも崩れない。毛細血管のように張り巡らされた作業道と排水傾斜を歩いて体感。大雨の度に土木工事を繰り返す箕輪町への導入の可能性をみた。

■那賀町議会改革

急速な人口減少をする町存続の危機感から、本気の議会改革をする粕木議員に伺った。委員会審査のLIVE配信、一般質問の字幕表示や資料の視覚化などを全会一致にとらわれずに進める姿勢を学んだ。

参加議員 岡田、中澤、寺平、上田、南



記録の詳細は会議録
検索システムで後日
議事録を閲覧するこ
とができます。



<https://ssp.kaigiroku.net>
(外部リンク)

総務
産業

令和7年度 一般会計予算

Q 公園のあり方プロジェクトの進め方は。



A 庁舎内で打合せを行った後、若者を含めた町民から意見を聴く会議を開催し進めたい。

Q 町発足70周年記念事業の参加料の内容は。

A スカイランタンイベントで100基を計画、参加費として1基2,000円を予定。

Q 「戸籍ふりがな通知書」発送費(192万円)の対象者は。

A 現在、存命している方のみを対象としている。

Q 新築住宅の太陽光発電パネル設置が進んでいない理由は。

A 住宅建築費の高騰により、予算面では対応できない状況とみている。

Q 木質バイオマス活用補助金の内容は。

A ペレットストーブに20万円、薪ストーブに10万円を補助する。



「©日本スカイランタン協会提供」

Q 多面的機能支払交付金が年々減少しているが、町独自の補完は。

A 町での補完についても検討したい。



多面的機能支払交付金とは？

農村地域の過疎化、高齢化等の進行に伴う集落機能の低下により、農用地・水路・農道等の地域資源の保全管理に支障が生じている。その対策として、地域の協働や、地域資源の保全管理を推進するための国の交付金。

Q 地域林政アドバイザー業務委託(423万円)の内容は。

A 町森林ビジョン策定に関わった2名に委託し、地区森林整備等へのアドバイスを予定。

Q 東箕輪サテライトオフィスの利用促進の新たな企画は。



夢まちLabo

A 町のハローワーク的な就労支援事業を計画している。

Q みのわBASEカフェコーナー委託料(520万円)は高額である。他に提案業者はなかったか。

A 公募を実施したが応募者がなく、継続委託となった、他の活用も検討したい。

現
地
確
認

- ・町道認定 町道290号線(松島北町)
- ・町道認定 町道1300号線(八乙女)
- ・雨水基幹水路接続(沢・保育園北)
- ・みのわテラスEV充電器設置
- ・長岡住宅団地テラス修繕(長岡荒城)
- ・狭あい道路整備工事(三日町)
- ・役場裏駐車場太陽光発電設備工事

総務
産業

3月12日(水)



雨水基幹水路接続(沢・保育園北)



役場裏駐車場太陽光発電設備工事

総務
産業

令和6年度 一般会計補正予算

Q 町HPリニューアル予算421万円減の要因は。

A 4社でプロポーザルを実施し、落札結果による減。

Q 町独自に整備する防災備品(6,674万円)は何か。

A ベビーケアルーム、組み立て式簡易トイレ、ドーム型パーテーションなど。▶P4 補正予算参照

Q ゼロカーボン推進会議支援業務委託料330万円減の理由は。

A 太陽光発電設置工事等が多忙のため、会議が開催できなかった。

総務
産業

箕輪町下水道・農業集落排水に関する
条例の一部改正 ▶P4 参照

Q 料金の値上げについて町民から反対の意見は。

A 役場へ直接反対の意見表明はない。

福祉文教 令和7年度一般会計予算

- Q** 高齢者にやさしい住宅改良促進事業補助金は、どのくらいの利用を見込んでいるか。
- A** 上限63万円の2人分を計上している。
- Q** こどもの居場所づくり推進事業補助金について、何ヶ所を見込んでいるか。
- A** 現在8ヶ所で、10ヶ所を見込んでいる。小学校区に最低一つは欲しいが、東小学校区に一つもないので、どなたか手を挙げてくれると有り難い。
- Q** 歩行姿勢測定システムとはどのようなものか。
- A** カメラで歩く姿を撮影して、歩行の癖を測定するもの。新しくなった健康アカデミープラスで使用を考えている。
- Q** 伊那中央行政組合の負担金増(約5,000万円)の理由は。
- A** 病院の運営に対して交付税措置されており、病院が2分の1、国が4分の1、市町村が4分の1負担。高度医療分に関するものが黒字だった頃は軽減されていたが、ここ数年赤字のため、元の市町村負担に戻すことになったもの。

募集
しています

福祉文教 令和6年度一般会計補正予算(第8号)

- Q** 自転車用ヘルメット購入補助金36万円減について、当初の見込み申請件数は。
- A** 上限3,000円で150人の45万円を想定していたが、申請が少なかった。
- Q** 学童クラブの国庫補助金が増えた理由は。
- A** 指導員を多く配置して支出額が増えているため、保護者負担から差し引きしたものを国庫補助として見込んでいる。

福祉文教 令和7年度箕輪町介護保険特別会計予算

- Q** 救急医療情報キットの普及は進んでいるか。
- A** 約1,700軒(高齢者人口の約2割)で取り入れられていて、少しずつ普及している。

ご存知ですか 筒状の保管容器に「緊急連絡カード」「お薬情報」を入れ、冷蔵庫の中に保管。「救急シール」を玄関と冷蔵庫に貼っておくと、いざという時、救急隊が取り出せる。



福祉文教 令和7年度箕輪町国民健康保険特別会計予算

- Q** 今後、多くの国保被保険者が後期高齢者に移行する。国保税はどうなっていくか、見通しは。
- A** どこの市町村も国保被保険者が減っており、一元化する動きがある。町として見極めながら対応していきたい。

議論
フォーカス

箕輪町立小中学校将来像検討審議会

審議日程について「6月に諮問し、10月に答申という短い日程、審議会数3回は拙速すぎる。」「時間をかけて審議を」など多くの指摘をした。委員会としてこのまま賛成するのではなく、**附帯決議**をつける必要があると意見が出た。担当課で検討を行い「当初の日程は白紙とし、年度内かけて慎重な審議を行う」と返答があり、附帯決議をつけることを取りやめ、条例案を全会一致で可決した。



附帯決議とは



議会または委員会で、議案を議決する際に付け加えることのできる意見・要望のこと。法的な強制力はないが、尊重されるべきとされている。

現
地
確
認



こどもの居場所拠点事業「みんなの基地」(木下)



子育て支援センター園庭

福祉文教

3月14日(金)

町政の
ここが
聞きたい!

一般質問

議員14人が町に
質問・提案しました。

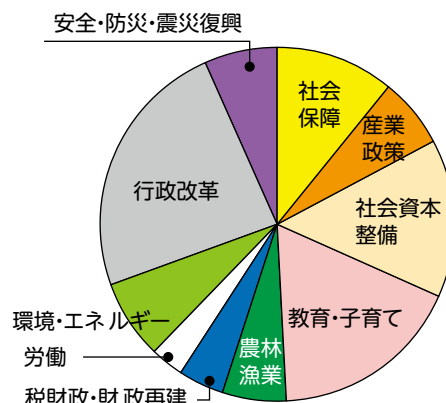


主な質問	議員	ページ
こどもまんなか予算の今年の目標は	小出嶋文雄	9
現在の町職員数の状況と課題は	中野 友美	10
高齢者、生活弱者などへの物価高騰支援策は	中澤 清明	11
天竜公園の老朽化した部分への対応は	中村 政義	12
既存太陽光設備の事業評価の検証はされたか	南 朋子	13
宿泊施設の誘致を積極的に進めるべき	平出 広志	14
中心市街地活性化へ夜間経済発展を考えては	入杉百合子	15
伊那中央病院収支と町負担金の推移は	小口 智世	16
役場窓口に聴き取りが不自由な人への配慮を	金澤 幸宣	17
社会体育館の空調設備は更なる検討を	岡田建二郎	18
芝のサッカーグラウンド整備についての考えは	上田 学	19
令和7年度の教育方針は	白鳥 真吾	20
子育てサポートの課題への今後の取り組みは	北野めぐみ	21
災害時、アパートの常会未加入者はどうなる	寺平 秀行	22

「あなたの関心事はどれ？」

3月議会の一般質問で、議員が取り上げたテーマを、分野ごと可視化しました。

政策分野の内訳	質問件数(65件)
■社会保障…………… 15	■税財政・財政再建 …… 6
■産業政策…………… 9	□労働…………… 4
■社会資本整備………… 20	■環境・エネルギー…… 10
■教育・子育て …… 24	■行政改革…………… 33
■農林漁業…………… 8	■安全・防災・震災復興 …… 9



知ってる?

みのわまちのいいところ

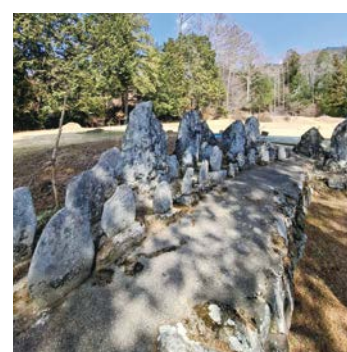
福与の観音原

東山山麓歴史コースの南端、福与区郷沢石仏と呼ばれる地にある観音原。ここには30基近い石造仏が鎮座している。衆生の苦しみを救い、願いを叶えるとされる「如意輪観音」が6基も揃っているのも珍しい。最も古い如意輪観音浮彫坐像は宝暦13年と記され、260年あまり太古のものである。

この石碑群が見下ろすのは、区画整備されずに残った曲線が織りなす棚田の風景と、中央アルプスの眺望。(表紙写真)

「登内」の姓を持ちこの地に住む10軒が、観音原を維持管理し守っている。正月には、しめ縄が飾られ、4月中旬には吹き流しを立てる。以前は、住民が重箱を持ち寄り、子どもから年寄衆まで繰出で祝ったその祭りごと、今は形を変えている。なぜこの地に石仏群があるのか、今では知る人もいなくなった。ただ、この地の願いを叶え護ってきた菩薩への信仰をやめてはいけなと繋いでいる。

東山山麓の歴史散策にぜひ訪れてみては。



箕輪町のいいところ、があったら教えてね。
✉ gikai@town.minowa.lg.jp

こどもまんなか予算の 今年の目標は

こ い で じ ま ふ み お
小出嶋 文雄 議員



町長 こども計画の普及と推進をする



議員 箕輪町こども・子育て応援条例が制定され、箕輪町こども計画も策定され、今年度予算では、こどもまんなか社会の実現を目指すとしているが、その目標はどこにあるのか。

町長 今年度策定をした「箕輪町こども計画」を推進するということである。こどもまんなか社会の実現で子ども達の意見が正当に重視されるためには、まず大人たちがその重要性を理解し、受け入れることが大事。職員、子ども子育てに関わる地域の皆さん、子育て家庭を対象としたこどもまんなか社会普及啓発のための研修会や講演会を実施する。行政や、地域において子どもが安心して思いや意見を述べるができる環境づくりを、子どもが社会に参画をする地域づくりの一員であるといった位置づけを持って実施をしていく。

教育長 教育委員会では、子どもが主役の学校づくりとして、今まで取り組んできた子ども主体の授業づくり、安心できる学級・学校づくり、根っことなるふるさと学習「箕輪学」の充実をさらに進めていきたい。

安心・安全のまちづくりを どう住民のものにしていくか

議員 セーフコミュニティの取り組みから新たな取り組みになったことについて、町民に密着したものとして住民とどう関わり、どのように住民のものにしていくのか。

町長 「箕輪町安全安心のまちづくり条例」を制定し、セーフコミュニティ活動を始めて15年が経過し、これまで培った予防とか、データ重視とか、協働といった、一定の知見があり、これらを受けてさらなる安全安心なまちをつくる。町民の皆さんが主体的に取り組んでいただけるかということが重要であり、令和7年度に策定する「箕輪町安全安心なまちづくり推進計画」の中にも盛り込んでいく。また、政策の成果や効果を町民の皆さんに知らせ、それが協働に結びついていくと思うので、「現状の見える化」が必要だと思っている。また、区とか企業とか、そういった皆さんが主体になってまとまりを持った動き方ということも必要だ。SC活動の中で起きたことは、やり過ぎると疲弊するということなので、それぞれの対応はしなければいけないが、ゆっくり地道にやる。

若者が定住する政策の 目標は

議員 若者が帰ってきて定住する、移住してきた人が定住するための施策の検証と若者の定住への目標は。

町長 将来の暮らしやすさを守るとか、人口規模を維持するという意味では、若者ということも必要だが、全体として移住定住を進めていく必要がある。住宅とか雇用、仕事の確保であるとか、子育て支援

とか、教育とかの事業実施をしながら移住定住を進めてきた。若者世帯定住支援奨励金は、例年60～70件程度の利用があり、今年度も現時点22件、61人の転入となっている。そのほか、アパート等への家賃補助、宅地開発事業に対する補助などにより、転入が町全体で100人を大きく超えているのでおおむね政策効果は出ていると考えている。商業形成とか、働く場所が製造業に偏っているとか、そういったことを少しでも払拭していかないと、なかなか若い女性、特に東京にいったん進学や就職で転出していった皆さんからは、選ばれないと思うので十分考えていく。

教育長 中学生議会で提言していただいたことが予算付けもされて現実のものになっていくところが、中学生にとってはとても大きな学びであり、その経験が大事だなと感じている。箕輪学だが、次の世代につながっていくような工夫をしていきたい。

その他の質問

- 農業を次世代につなげる政策は
- ゼロカーボンシティの実現と町民への浸透の目標は
- DX活用、町民へ浸透のさせ方は
- 高齢化に対応した福祉施策の重点目標は
- 上下水道インフラを持続可能にする取り組み

現在の町職員数の状況と課題は

なかのともみ
中野 友美 議員



町長 守備範囲の拡がりの中核人材の経験不足

職員数は足りているか

議員 アフターコロナで社会が元の活動に戻りつつある。それに対応する役場職員の状況を見ていると、条例定数を検討すべき時にきているように思うが、所見と課題は。

町長 町の正規職員定数、条例定数は208人。人口規模や財政状況からおおむね適正と考える。行政の守備範囲が広がってしまい、正規職員が新たな業務に就くので、会計年度任用職員を増やし担っている状況がある。

年齢構成を均等にするため、30代～40代半ばの職員数は社会人採用を行い大分解消された。しかし、この年齢は係長として組織の中核を担っていく段階だが、経験が浅く昇任が難しい。職員にはそういった能力・経験を求めている。また定年延長制度を導入したが、新規採用を抑制することになり、組織の高齢化や、人材の入れ替わりの停滞が課題である。

議員 勤務状況を見ていると、職員の時間外労働に対する支払いが少なく感じる。休日出勤は代休扱いとなっているが、きちんと取得されているのか。職員の時間外労働に対する労務管理の課題は。

町長 労務管理や安全衛生の観点からも適正な運用に基づくルールを徹底しなければと思う。いわゆるサービス残業、持ち帰り残業などがないようにしたい。組織の問題としては、課の業務の専門性、特

殊な時期もあるが恒常的に行われている課について改善が必要。

町民たちを応援したいと 思える人材の育成

議員 労働基準に従って労働したら、休暇があるというのが大事。プライベートの充実の仕事のマネジメントに生きる。事業を達成するための残業は悪いわけではない。適切に対価をもらい、成し遂げる達成感と充実感が、職員を次の創造やチャレンジに向かわせる。議員や町民からの指摘や課題に「よし！」と挑戦したくなったり、頑張っている町民たちを応援したいと思える人材の育成が必要では。

町長 個々の職員の意識が変わらないと時間外は減らず、これは組織を超えた問題だと思っている。時間外勤務が慢性化して多忙感があると、直面する行政課題に意欲的、創造的に対応ができない。組織風土を変えなければ。DXによる公務効率の向上や、多様な人材を入れ、行政の守備範囲を広げざるを得なくなっているところに対応していく。

議員 風土、多様な人材をつくっていく上で、専門性を高める研修以外に、職場の枠を超えたグループ視察、あえて業務に関わらない研修を受け経験を広げる、また以前取り組んでいた、早稲田大学マニフェスト研究所の自治体向けの研修などでの意識改革が必要では。

町長 ある程度仕事にゆとりがないとできないと思うが、以前、自分とは関係のない政策課題について、一定の集団をつくって政策研究をしたり視察をしていた。早稲田の研修なども復活させる。

「集落支援員」を増員し 職員の業務を補完する提案

議員 職員のゆとりをつくるため「集落支援員」を増員し業務を補完する考えは。

町長 国庫財源を使ってかなり幅広にできる制度であるため、現在の職員に負荷がかからないよう検討する。



役場庁舎内

その他の質問

- 増大する事業見直しの考えは
- 職員採用に一般事務初級(高卒)をいれる考えは
- R7予算 財政状況の未来シミュレーション見える化を
- 健康づくり推進事業「減塩」と「带状疱疹ワクチン」の課題
- 国土交通省「二地域居住の推進」について

高齢者、生活弱者などへの 物価高騰支援策は

なかざわ きよあき
中澤 清明 議員

町長 出来るだけ早く検討し補正予算で



議員 7年度当初予算では国からの物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金は保育園運営や学校給食費など子育て教育へ全額充当されていて、高齢者や生活弱者への物価高騰対応予算が見えない。

- ① 高齢者、生活弱者への支援をどう考えているか。
- ② 運輸事業者に行った燃料代助成を介護事業者にも行う考えはないか。
- ③ 農業関係者に助成した肥料や薬品購入助成はどうするか。
- ④ 国県の補助待ちでなく町の一般財源での物価高騰支援策を考えてみるつもりはないか。

町長 給食費の物価高騰支援として保育園、小学校、中学校に計4,769万円助成したが対象世帯が多く単に子育て支援とは考えていない。生活支援として実施したと思っている。

- ① 低所得世帯への支援は国県の給付金が始まっている。町の支援については具体的には決めていないが今後検討したい。
- ②③ 検討すべきと思っている。出来るだけ早く補正予算を考えたい。
- ④ 事業内容によっては町の財源を使うことは当然あるが、財源の問題があるので前半では国県の金を使った事業でと考えている。



農地が農地として 使われ続けるための 取り組みについて

議員 現在耕作している人から「あと何年続けられるか。そのあとの見通しはない」との声が多く聞かれ、「農地として使われない農地」が急増することは明らか。担い手を増やすことが大事だがどう取り組んでいくのか。

町長 農業応援団計画は田や畑を耕作地として活用することだけを意図した計画ではない。消費者とか農地を持たない町民が農地を使うこと、農作業を支援すること、農的暮らしを楽しむことによって結果として農地や農家を守り、田園環境を維持していくことを目指している。農業応援団計画が外からの新規就農者の増加につながっているのは事実で、現在の就農者への支援とともに取り組んでいきたい。

みのわテラス 振興支援事業の検証を

議員 開業5年目を迎えるみのわテラスは集客も売り上げも順調なように「賑わいの創出^{にぎわい}」という点では十分に使命を果たしていると思う。しかし同じ指定管理者でありながらみのわテラスへの財政的支援、人的支援は群を抜いている。5周年は一つの区切りであり、これまでの検証の上に新しい方向を検討すべき時期ではないか。

町長 道の駅も考えているので一定の検証をして次の段階に進むことは大事である。イベント事業は町が企画し実施している。生産者登録も倍増し、販路が拡大し、地産地消も進み一定の効果があった。今後道の駅とするには町の関与をどうするか検討せねばと考えている。

もみじ湖観光施策の 見直しを

議員 ① もみじ湖関係予算は大きな赤字である。観光地化は目指さないとした従来答弁に変わりはないか。また毎年1週間程度の渋滞対策に2千数百万をかけるのは見直すべきではないか。

② 旧長岡新田の集団移転の事実とその思いを引き継ぎ取り組みを大切にしていきたい。

町長 ① 観光地化を目指さない方針は全く変わらない。いずれ必要なくなると思うが当面は渋滞対策を続ける。

② 上伊那市町村の水がめとして地域のために移転され、モミジまで寄贈されたことは尊いことで地域や教育の中で伝えていきたい。

その他の質問

- 農業委員等の報酬について
- 地域おこし協力隊について

天竜公園の 老朽化した部分への対応は

なかむら まさよし
中村 政義 議員

町長 公園のあり方も含め総合的に検討



議員 天竜公園ができてからどれくらいになるか、老朽化した部分もあり、多様化する住民ニーズにどのように対応していくのか。

町長 開園から30年以上が経過する中で、これまでに遊具の設置、トイレやベンチの交換など改修作業を行ってきた。経年劣化による設備の老朽化が目立つ。長寿命化計画により予防的な修繕、危険箇所の緊急的修繕を行う。現状の公園を維持していく中では、防災や健康寿命の観点などを含めた改修も必要。公園のあり方も含め総合的に検討する時期となった。

議員 噴水周りの平板ブロックの劣化や歩道のアスファルトのひび割れ、陥没等の対応は。

町長 来園者の玄関口として平板ブロックを敷きつめ、噴水を設置して、そこから一周する歩道へとつながっている。ブロックの鉄筋が露出している箇所もあり、噴水は故障している。一時的に噴水周りとは水遊びのゾーンは、改修を検討。

議員 歩道のアスファルト全面改修が生じた際には、ウォーキングロー

ド的な素材を使用しての改修とらないか。

町長 優先順位としてどうするのかという問題はあるが、検討してみたい。

議員 天竜公園北側中央にあった時計がなくなってしまったが。

建設課長 長寿命化計画策定業務中の健全度調査結果にて、支柱にひびが入り危険な状態と報告があり、2月末安全確保の観点から、緊急撤去を行った。支柱自体にクラックが入り、再度新しい時計の取り付けは不可能。今後は時計の必要性を検討する。

医療・福祉・介護の人材 不足について

議員 有資格者の掘り起こしのための資格取得支援特定人材のU・Iターンに対する奨励について近年の実績は。

みのわの魅力発信室長 社会福祉士、介護福祉士、看護師、保育士の資格を持ち、町内の施設または伊那中央病院に就労する方に、U・Iターン応援特定人材就労金を

交付している。令和4年度は6件の申請で5件が看護師、1件が保育士、Iターン1件Uターンが5件。令和5年度は1件の申請でUターンの看護師。令和6年度は3月1日時点で4件の申請。看護師の方でIターン3件Uターン1件。近年の交付実績は、看護師の方、Uターンの方が多い。

議員 今後の方向性は。

みのわの魅力発信室長 令和7年度に奨励金の金額を改正予定。女性加算を廃止、基本額を20万円から30万円に増額。Uターンをした方の10万円加算は継続。

特定人材就労奨励金の周知はさらに力を入れたい。

議員 医療・福祉・介護の現場では、深刻な人材不足となっている。新規で人材が確保できない中、担い手の高齢化、長時間労働等抱える問題は山積み。町単独の補助金等の考えはないか。介護施設への中途採用者の初任者研修時に補助はできないか。

町長 医療介護施設への中途採用者の資格補助は重要。人件費補助をどこまで広げるかは、なかなか難しいが、資格取得等には対応していきたい。



天竜公園

その他の質問

- ふるさと納税について
- 環境整備について

既存太陽光設備の 事業評価の検証はされたか

町長 小・中学校は把握できていない

みなみ ともこ
南 朋子 議員



議員 15年前に設置された庁舎と小中学校6校の太陽光パネル、事業評価の検証と経年劣化は。

町長 役場庁舎パネルの発電量は、R5年で96.5%、パワコンの変換効率は101%で更新状況にはない。学校は検証していない。

議員 ソーラーカーポート、パワコンの交換費用、パネルの処分に掛かる費用は。

ゼロ室長 PPA事業者が管理する。町に無償譲渡するか事業者に撤去してもらうかは、今後の本契約時に判断する。

議員 町民も充電できるのか。

ゼロ室長 検討したい。

ゼロカーボン事業の 費用対効果と予算の使途

議員 総事業費の7年度予算は4億4,536万円、推進事業費は1億1,892万円。うち、イベント等の委託料が2,233万円。推進事業によって家庭への導入が増えるのか。

町長 箕輪町はゼロカーボンを目指すという合意形成ができていれば、入れていかざるを得ない。イベントを通じて、子ども、小・中学生に将来必要と訴えたい。

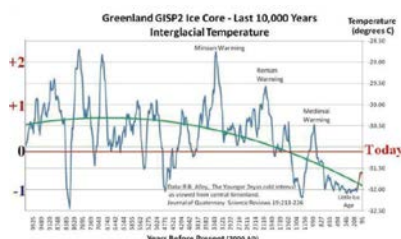
議員 私は合意していない。近い未来にペロブスカイト等、安価で新しい技術が見えている。家庭が出すCO₂はごくわずかで温暖化に影響はない。1年かけて行われる町政70周年事業が990万円に対し、「地球・環境・未来フェス」が

13日間で861万円だが相応か。

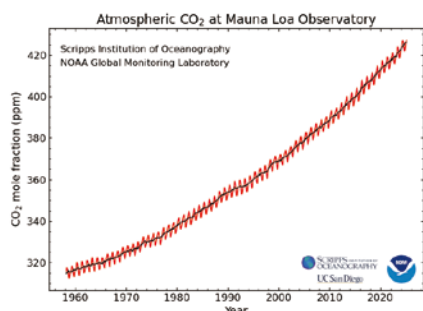
町長 金額の問題は確かにある、精査しなければならない。

議員 アメリカでは、パリ協定から離脱、WHOを脱退、EV普及策も撤回、気候変動対策を批判し、脱炭素をやめると訴えたトランプ氏が選ばれた。米・金融大手5社は、2050年までに温暖化ガスの排出量を実質ゼロとすることを目標にする国際的な連合体NZBAから相次ぎ離脱、日本の三井住友FG、野村HDも脱退した。

もはや世界の潮流は「脱・脱炭素」。世界情勢を捉えずにこのまま脱炭素を推進し続けることで、巨額の無駄遣いにならないか。気候緊急事態など存在しないとする科学者や専門家は大量いる。大気中の



「中世ローマ時代から気温は-5℃寒冷化しているが、産業革命の1850年から測定を始めれば、温暖化していることになる」
引用：メルボルン大学 イアン・プリマー名誉教授
Journal of Quaternary science
Reviews 19:213-226



マウナロア観測所のCO₂濃度測定値
世界中での削減効果は、全く出ていない
<https://gml.noaa.gov/ccgg/trends/>

CO₂は約0.04%、日本の排出量は世界の約3%。再エネは利権。この小さな箕輪町が、身銭を切って達成努力をする意味があるのか大変疑問だ。ゼロカーボンが町にもたらすメリットは。

町長 率先してやることで町の行政レベル・知名度を上げ、理解していただくことにつながる。

みのわテラスのトイレ

議員 365日24時間オープンにできないか。車イス利用の方にとっても、町で一番使いやすい。テラスのトイレならいつでも使えるという安心感が、誰にも欲しい。防災面でも必要では。

町長 防犯面で実現できずにいるが、必要性はある。道の駅化前に可能か検討する。

マンホールトイレの設置を

議員 下水道に通じるマンホールのふたの上に簡単なトイレを設置するだけのマンホールトイレが災害時に有効。中学校の6基だけでなく、各区に備えては。

町長 二次避難所を中心に検討の余地あり。

その他の質問

●携帯用トイレは、倉庫でなく避難所に設置すべき

●トイレは環境整備課に一本化しては

ゼロ室長 :総務課ゼロカーボン推進室長

宿泊施設の誘致を積極的に進めるべき

ひらいで ひろし
平出 広志 議員



町長 非常に喫緊の課題であり誘致活動を進める



議員 ビジネス旅館の閉館により、町内の宿泊施設は、ながた荘を含め3軒となった。宿泊施設は観光、ビジネスにおいて必要不可欠な重要施設である。宿泊者とともに町内飲食店等を含む商業経済に大きな影響が出ている。積極的な誘致が必要である。

町長 事業所出張者のビジネス、観光客の利用ニーズは非常に高い。ビジネスホテルを展開する企業に対して誘致活動を始めている。誘致施策についても、製造業誘致に対する土地取得や固定資産税の軽減策についても必要性を含めて検討する。

議員 町の経済活力向上のためにも、補助制度を含め、早期に誘致が実現することを強く希望する。

みのわテラスの道の駅化について

議員 「みのわテラス」の道の駅化に向けた予算を計上しているが、「駅」のコンセプトをどのように考えているか。



みのわテラス

町長 「農ある暮らしの発信地」「賑わいの創出の場」を基本とするが、地域と子どもとのつながりを強化したい。その上で、3つの機会
①農を手掛ける機会…手掛ける豊かさの実感
②農の魅力・楽しさを広める機会
③農を次世代へ繋ぐ機会…子ども達に農ある暮らしの芽を育てほしいをコンセプトとして考えている。観光交流の拠点や災害避難地としての役割も考えたい。

議員 道の駅として、情報発信機能や地域連携機能も必要である。地域振興、交通拠点としての機能も検討する必要がある。

農業次世代人材の支援体制について

議員 新規就農者や次世代農業人材を育成する組織体制がしっかり機能していないと感じる。積極的に人材育成に向けた組織を再編成すべき。

町長 支援体制としてはあるが、十分ではない部分もある。新規就農者は移住者が多いため、農業以外の生活面での支援も大切である。技術面の支援も県、JA等の指導体制も以前に比べ弱まっている。新体制の専門性を高めなければならない。農業の専門家を雇用するなど支援体制を確立しないと丁寧な対応ができない。今後の課題として現状を踏まえて支援体制を考えたい。

町民サービス向上に向けたDX推進について

議員 役場窓口での申請時に住所、氏名、生年月日などの基本情報を書類毎に書く手間を省く「書かない窓口システム」の本格実施をスピード感を持って導入すべき。

町長 住民負担を考えると、「書かない窓口」はできるだけ早くと思っている。R7年度ではマイナンバーカード関係の申請について、簡易的な書かないシステムを予算化している。R8～R9年度にかけて電子証明書の更新件数が非常に多くなってくる。来庁者の待ち時間を考え、先行してこれを実施する予定。

防災力強化と事前復興まちづくりについて

議員 東日本大震災から14年、国土交通省は、復興に向けた事前準備や復興体制・手順、基礎データの更新などを整備した「復興まちづくりのための事前準備ガイドライン」の作成を推奨しているが、町の現状は。

町長 事前に承知していなかったが、松島や木下などの市街地が、一度に崩壊した場合を想定した復興について定義していると考えている。道路や建物をどうやって配置していくかを考える必要性もあるので、町にとって復旧から復興まで検討・研究する材料としていきたい。

中心市街地活性化へ 夜間経済発展を考えては

いりすぎ ゆりこ
入杉 百合子 議員

町長 事業者の意思形成が課題



議員 町中のケーキ店やビジネスホテルが閉店し、町の中心市街地と呼ばれるところが空洞化して活気がなくなっているが見解は。

町長 大変寂しい状況かなと思う。

議員 町の活性化には先ず駐車場が足りない。大人の遊べるところが無い。夜間経済発展のため、大人の遊べるところをつくるべきでは。

町長 魅力的な店舗が先なのか、駐車場が先なのか分からないが、駐車場不足が起因しているのは事実だと思う。いずれ公共駐車場を広げたい。これは事業者の皆さんの意思形成が課題だと思う。町中の創出を目指して空き店舗出店の補助金などを通じ事業展開できるようにしている。現状は店舗併用住宅が多く活用が進まない。

議員 市街地活性化について、商工会との連携は。

町長 これまで産業振興について商業だけはしなかった。しかしこれからは都市計画の考え方から、町がもっと先頭を切ってやらなければならないと思っている。



上下水道管の 老朽化の現状は

議員 町の上下水道管の老朽化はどのような状況なのか。インフラのトリアージはどこまで進んでいるのか。

町長 上水道の耐震化は、重要施

設の進捗率は67%。下水道については令和7年度から排水本管対象の延長計画で、約20キロの耐震化を実施したい。

議員 今後の管理体制はどのようにするのか。

町長 現在主要幹線で年数の経った国道バイパスを中心に、目視とカメラによる調査を実施。老朽管の敷設替え工事も継続して実施。点検では技術的に新しいものや効果的なものは取り入れていきたいと考えている。

小中学校での ICTとの付き合い方は

議員 一人一台パソコンの更新時の年。教育にタブレットを導入したことによって、児童生徒、学校にとっての変化はあったのか。

教育長 町で進めてきた子ども主体の授業が大きく進んだ。個別最適な学びで、自分に必要な学びを深めていくことが瞬時にできる。同時に協働的な学びを深め、それぞれの子どもたちが考えていることが可視化でき、最適な学びと協働的な学びの一体的な実現ができ、学びに向かう姿が高まっていると感じている。

議員 タブレットの導入で手書きの回数が減っていることを懸念しているが。

教育長 町では「MIM」という読み書き研修を小学校低学年より取り

入れ、当初より並行してやってきている。

議員 これからのICTとの付き合い方はどうするか。

教育長 町ではネットトラブルに巻き込まれないよう防止の講演会をやったり、デジタルシチズンシップ教育という箕輪町のプログラムを作っている。最終的に自分がどう判断できるかを、一人一人の子どもに力をつけることを重点に取り組んでいる。

議員 パソコンの更新はどのような予算配分とプロセスで交換されるのか。

教育長 財源は3分の2が国の補助、3分の1が町の負担。県の共同調達によって、現在と同じクラウド端末を令和7年度中に町内小・中学校の全端末を一括更新し配備する。

火災現場の対応の現況は

議員 火災現場に町の理事者や関係団体を参集する理由は。郡内の他自治体と対応が違うようだが。

町長 現場の確認や消防団に対する目配りという意味かと思う。総務課、福祉課の職員その他、地元の区の役員が駆けつける。現場が混乱しないよう、火災を見物されても困るので、必要の無い人があえて行く必要は無いと思う。

その他の質問

●リエイブルメントに基づく支援の事業化について

伊那中央病院収支と町負担金の推移は

おぐち ちせ 議員
小口 智世



町長 赤字で課題大、令和10年度まで大きく増額



議員 伊那中央病院の収支の推移は。

町長 平成29年度から赤字決算。令和5年度、6年度で9億円から10億円の単年度赤字。支出増の原因は特に人件費や材料費の増大。

議員 伊那中央行政組合への、町の負担金の推移と今後の見込みは。

町長 負担金は、伊那中央衛生センターと伊那中央病院に関するものがあり、箕輪町、伊那市、南箕輪村が負担している。町の負担金は1億3,500万円前後で推移してきたが、来年度は2億700万円余。衛生センターの建て替え工事で令和10年度まで増額予定なのと、中央病院の高度医療分の増加によるもの。

議員 高度医療分は、3市町村の負担分25%を減額されていたが、赤字続きなので負担することになったと聞いた。負担金が多いままだと、余計に町独自の投資的なお金の使い方ができなくなる。手厚い家賃補助を受けている研修医が医師として戻ってくる割合は2割弱。医師は信大から1、2年の派遣が多く、他の医師も1、2年で退職金をもらって違う病院に移ることが多いと聞く。私たちの税金で経営されている病院がもっと愛される病院になるよう、皆で知恵を絞る必要があるのでは。



町長 高度医療の実施や看護体制の充実で医業収益は伸びている。

60%超の人件費率と材料費をいかに抑えるかと、病院全体で危機意識を持つことが大事。

介護の担い手不足解消について

議員 町の介護職員資格取得補助金は、主任介護支援専門員（主任ケアマネ）が対象ではない。資格補助を充実させては。

町長 ケアマネ自身のキャリアアップという側面があり、それによって人が増えるとか、施設にプラスになるということはないと考えるが、担当課と相談する。

議員 潜在的な管理者養成になるので、前向きに検討を。

埋葬の多様な選択肢について

議員 「夫の家のお墓に入りたくない」という方が大勢いる。長男がお墓を相続し、妻は当然そのお墓に入る。お墓は家父長制の名残を象徴している。友人同士で、町の合葬式共同墓地への申込は可能か。

町長 使用者、申込者が町内に本籍か住民登録のいずれかがあれば、可能。

議員 「うんこと死体の復権」という映画に、糞や髪の毛を虫が食べて土に返すシーンがあり、究極の循環だと感じた。散骨を望む方もいる。土葬、散骨等、町ではどのような選択肢があるか。

くらしの安全安心課長 墓地、埋葬等に関する法律では、土葬または焼骨の埋蔵は墓地以外の区域に行ってはならないとなっている。箕輪町公園墓地条例では、土葬不可で焼骨の埋蔵のみ。散骨は様々な法律に抵触しなければ可能だが、まずは担当課に相談を。

議員 お互いの価値観を否定せずに話ができる対等な関係だったら、「夫の家のお墓に入りたくない」とならないのでは。結婚しない方、自然豊かな田舎を目指して移住してくる方もいる。自分らしい眠り方を選べる町になることを願う。

こどもの居場所事業について

議員 こどもの居場所拠点事業の現状は。

町長 駅前こども相談室「だん暖」は、半年間の延べ人数大人199人、こども253人。実人員ベース大人35人、こども32人。「みんなの基地」は、半年間の延べ人数大人87人、こども208人（こども食堂含む）、実人員ベース大人50人、こども88人。どちらも不登校気味のお子さんも利用している。

議員 学校との連携は。

町長 同意を得ている家庭は学校と情報共有を図っている。

議員 学校に行っていないなくても第3の居場所があるという情報が、家庭にも届いてほしい。

役場窓口に 聴き取りが不自由な人への配慮を

かなざわ ゆきのぶ
金澤 幸宣 議員

町長 来庁者に対する懸念点、確かに心もとない



議員 昨年末、職員による役場窓口対応シュミレーションを行ったが難聴者の想定はしていない。窓口で老眼鏡など視力補助具はほぼ配備されているが、聞き取りが不自由な人への配慮はまだ出来ていない。これからは必要性が増大する。“書かない窓口”実施で予想される懸念点は。

町長 来庁者に対する懸念点まで論議されているか心もとない部分があった。もう一つ、(提案のように) 来庁者から「私は難聴です」と言うようなメッセージが出るような方策があってもいいかなと感じた。その点は検討する。

議員 全国では極少数の自治体で軟骨伝導タイプのイヤホンを配備しているところが始めたが、不特定多数の来庁者対応窓口では衛生面を考慮し、耳穴に入れないヘッドホンタイプの集音器 (あるいは補聴器) 配備を強く提案する。



ヘッドホンタイプの集音器(補聴器)

課長 現在、筆談などで対応しているが、文字化・翻訳化されるような機械もある。ヘッドホン式集音器の他、様々なタイプがあるので費用面、効率面も考えられるところから取り組む。

“みのわ丸2025”出航にあたり20の重点プロジェクトをどう位置付けるか

議員 急激な諸物価上昇を受ける中、121億8,000万円の当初予算は概ね設定規模と認識。重点プロジェクトをどの様に位置付け実施するか。

町長 確かに時代変化が激しく、(世代間の違いを) ギャップと言うより多様性と捉える。予算編成でも非常に難しい部分があった。20の重点プロジェクトは箕輪チャレンジ事業であり、後期計画策定の中で従来の17項目のチャレンジに、DXの推進、ジェンダー平等、ゼロカーボンを加え、20項目のチャレンジに取り組む。10年先、20年先の箕輪町を考えた時に何が重点にあるべきかを考慮し予算配分した。下水道の耐震化、住宅・建築物の耐震化に対し思い切った施策に取り組む。少子化の中で子供たちをいかに育て、教育し、地域の担い手になって貰うか「こどもまんなか社会」の普及啓発をして行きたい。都会に出ることなくこの地域で頑張っている青年たちをいかに応援するかを20のプロジェクトの中に位置付け事業展開している。

議員 これらを踏まえ、新年度機構改革の重要ポイントは何か。

町長 昨年度の組織再編は大分大きかったが、新年度の組織変更は基本的には行わない。まずは窓口業務をどう行うかを考えた上で組

織を作り直した。もう一つは、組織の大きさの問題。行政DXを進める中で、(スマート窓口施行は)全体で統括し全体のチームで動かざるを得ない。危険も伴うが今はそれが求められている。よって、現時点で組織を動かすことは難しい。

形成外科・皮膚科・産婦人科、同時開業後に期待される効果は

議員 7月木下地籍に同医院で3つの診療科が開設されることは非常に大きな健康推進に繋がる。開業後に期待される効果は。

町長 いずれも新しい診療科であり診療可能な疾患が増え、町民の利便性が向上する。また、産婦人科は診療のみならず保健事業にも幅広い効果が期待できる。子宮頸がん検診の実施も調整している。

議員 今後、引き続き耳鼻咽喉科の誘致も望まれるが、補助金の枠もそのまま継続でいいか。

町長 現時点では、上限3,000万円で継続が妥当と思っている。



開院間近の新しい3診療科

その他の質問

● SNSの及ぼす影響について

社会体育館の空調設備は 更なる検討を

おかだ けんじろう
岡田 建二郎 議員

町長 空調方式・断熱共に検討を重ねる



議員 令和7年度予算に2億3千万円で計上されている社会体育館の空調設備工事は、パネル方式による冷暖房が想定されているが、バズーカ方式を採用した東京都内の学校体育館では1校当たり2千万～3千万円で空調が整備された。空調方式を再考することで町内の全学校体育館に待望のエアコンが設置できる。地中熱利用も含めた電力の調達方法など再検討すべきでは。



都内でも導入実績の多いバズーカ式空調

町長 初期費用や運用経費を勘案してパネル式空調で見積もっている。今後、電力の確保策も含め、空調方式もさらに検討を重ねたい。

議員 体育館の空調は断熱性能に大きく左右され、政府の方針でも2024年度から体育館の断熱改修に補助メニューを追加した。空調工事と断熱工事を併せて検討すべきでは。

町長 断熱工事による費用対効果があまり見込めないが、社会体育館は窓の大きさが課題だと認識している。

農家への積極的な 設備投資支援を

議員 果樹農家が導入する防霜ファン・灌水施設・防風ネット等に対し、町としての財政支援の見込みは。

みどりの戦略課長 令和5年度で終了した農業機械導入補助金の復活を求める声も多く、7年度は果樹農家の設備投資も含め、幅広く支援したい。

議員 園芸施設での薪ストーブによる暖房は、原油高の中では需要が見込まれる。町が実施する支障木伐採で生じる木材を優先的に斡旋するなど、利用者が最も苦勞する燃材の確保と積極的なPRで、さらに利用が増えるのでは。

町長 町内イチゴ農家さんの導入事例を承知している。普及拡大を図る面でも、補助制度や効果の紹介は必要と考える。



イチゴのハウスで導入された薪ストーブ

役場周辺の 緑地管理を計画的に

議員 役場や博物館周辺の緑地は樹高も高く、1年前には倒木事例もあった。中学生の通学路で園児の散歩コースでもあることから、早急な整備計画が必要では。

町長 対象地はほとんどが個人の所有であり、税金での整備は慎重でなければならない。しかし、松島区からの要望もあることから、物的・人的被害が生じる前に対応しなければならないと考えている。



倒木が心配される役場周辺の緑地帯

広島平和学習の 更なる充実を

議員 昨年の平和学習報告会で、参加された方々から資料館の見学時間の延長、帰りのバス車中での交流の実施など、具体的な提案が出されたが、今年度事業への反映は。

教育長 平和公園の見学を調整して、資料館の見学時間を60分から90分へと延長する予定。帰りの車中でも感じたことを新鮮なうちに交流できるよう検討している。

芝のサッカーグラウンド整備についての考えは

う え だ ま な ぶ
上田 学 議員



町長 結論を導く時期には来ている



芝のサッカーグラウンド整備

議員 サッカー人口は全国的に増加しており、町内でも保育園から中学生まで一貫してサッカーに親しむ環境がある。松本山雅のホームタウンでもある箕輪町において、芝のサッカー専用グラウンド整備の考えは。

町長 グラウンドの芝生化については、以前からスポーツ団体の皆様からも要望をいただいている。冬季も利用可能であるという観点からも有用性があると思う。ただ、新規で芝生化する状況にはないのが現実。既存の上古田運動場や番場原第2グラウンドについて、可能性を含めて検討が必要。

議員 専用の委員会などを作って検討してみてもいい。

町長 委員会をつくるかどうかは、教育委員会と話をしなければいけない。そろそろ結論を導く時期に来ているという感じはしている。町民の皆さんの意見を聞くことになると思う。



公園のあり方検討事業

議員 来年度の主要施策にある公園の在り方検討事業の目的と、Park-PFI制度の導入や図書館との連携についての考えは。

町長 老朽化の進む既存公園の役割を見直すとともに、雪捨て場や災害時の廃棄物収集場所など新たな機能を備えた広場の必要性も感じている。Park-PFI制度は難しさもあるが、財政負担軽減の一手段として検討の余地がある。図書館との連携整備についても、考え方としてはあり得ると思う。

熊の錯誤捕獲

議員 熊の錯誤捕獲の件数と費用、錯誤捕獲を減らすための対策は。

町長 令和6年度の錯誤捕獲は16件、費用は約140万円かかっている。専門業者の麻酔費用や猟友会への報酬が含まれる。

錯誤捕獲を減らすには、わなを設置しないことが一番の対策。熊の足より小さい直径のわなを設置することも効果がある。猟友会とも協議しながら、わなの設置箇所数を含め検討している。

移住・定住と 地元企業の魅力発信

議員 住み続けたい・帰ってきたい町に必要な要素と、地元企業の魅力発信のあり方については。

町長 人口減少や高齢化が進む中でも、町民の知恵を活かした行政運営によって暮らしやすさを維持したい。都会にはない安心・安全が箕輪町の魅力。企業情報を発信するための保護者向けセミナーや、夢まちLaboでの職業紹介機能の整備を進める。

教員の職場環境改善

議員 教員の職場環境改善に向けた取り組みを、どのように進めているか。

教育長 教員の働き方改革の目的は、子どもとしっかり関わり、授業の質を高める時間を確保することにある。町では業務や行事の見直し、5時間授業の日の導入、勤怠管理の徹底などを進めてきた。校務支援システムの活用で出欠や連絡業務を効率化し、朝の時間に子どもと向き合えるようになっている。また、業務支援員の配置によって教員の負担軽減を図り、教育支援員による子どもへの支援も行っている。さらに、若手教員へのOJT支援、ICT支援員の巡回、多様な学びコーディネーターの活用など、教育の質の向上を目指した取り組みを多面的に進めている。

議員 勤務時間のうちどれくらいの部分を、教員の専門の仕事に使えているか。

教育長 10分の1から10分の2くらいが事務的な仕事でそれ以外は使えている。

令和7年度の教育方針は

しろとり しんご
白鳥 真吾 議員



教育長 子どもが主役の学校づくり



議員 年度ごとに「箕輪町の学校教育」として基本方針が出されている。新年度は県教育委員会からウェルビーイング実践校の指定を受け、取り組みを具体化していく年度となる。箕輪学や学びの多様化など、これまで取り組んできたことにプラスをして新たな取り組みが進められると思う。新年度の教育方針は。

教育長 子ども主体の授業づくり、安心できる学級・学校づくり、箕輪学の充実を大事にしてきた。それを踏まえ、新たなものというよりも焦点化しながら取り組んでいく。一番大事にしていることは子どもが主役の学校づくりである。

議員 町民の皆さんから教育委員会への要望や意見などについて、現在どのような方法で受け付けているか。

教育長 要望、意見などについて、一つ目は町教育委員会のホーム

ページに「お問い合わせ」という項目を設け、メールでもらうようにして、直接回答をしている。昨年度5件ほどもらっている。二つ目は町長への手紙で教育に関わることは教育委員会にて、回答をしている。学校教育課の電話や窓口という場合もある。

議員 町民の皆さんから直接意見などを聞く機会として、町長は地区懇談会を行っている。教育委員会でも懇談会の実施を。

教育長 学校評議会や信州型コミュニティスクールなどがあり、年間を通して皆さんから学校への意見などを聞いている。箕輪町の小中学校の将来像を語り合う懇話会で、保護者や高校生から意見を聞いている。箕輪町小中学校将来像検討審議会の中で必要があればそういった機会も検討していく必要があると思っている。

箕輪町小中学校将来像検討審議会について

議員 審議会では委員の公募が予定されている。懇話会の時は高校生世代について公募が行われたが、広く町民の方を対象にした公募が行われなかった。世代関係なく声を聞くことは重要なことである。公募委員の要件は。

教育長 特別な要件を設ける予定はない。町内在住の方が要件と考えている。

議員 将来像について全小中学生を対象にしたアンケートが行われ、審議会の中で公表されると思う。アンケートで声を聞くことも大事だが、中学校の新制服を決めるときに行われたような、子ども会議を審議会の中でも開催を。

教育長 子どもたちの意見を表明できる場を作っていきたいと思う。

ゼロカーボン施策について

議員 啓発活動やイベント、相談会などの内容や開催方法について検証を行う必要がある。これまで検証を行ったか。

町長 限られた場所で多くの皆さんが集まって行っている。設置場所や時期などについては検証をしないといけないと思う。アンケート調査に協力してもらうこともあるので、多くの皆さんと会える場所の設定をこれからもしていきたい。

学校教育の重点

B 「主体的・対話的で深い学びの授業」への改善

- 1 「箕輪町学習デザイン」→授業の「学び」のデザイン化で集中して学ぶ
⇒ICT機器や教科書・資料を活用した「個別最適化」「協働学習」
⇒子どもが自ら課題をみつめ解決する力を養う日常の授業に！
- 2 「子ども主体の授業」深化→7月19日（進捗表等）の「個別最適化」「協働学習」
⇒「自習ノート」・Chromebook等を活用した家庭学習の充実
⇒C.R.T・N.R.TとQ・Uの活用による学級づくり
⇒その実践に応じた学習指導の展開
- 3 対話を通じた「学びの深まり」を実現
- 4 カリキュラムマネジメントの促進⇒教科・総合的な学習の時間を創造的に再構築した学習の充実
- 5 教職員研修の充実⇒校内OJTによる力量向上
⇒授業・学級づくり、先進地研修、ICT研修等

「子ども主体の授業」づくり

C 「教育DX推進」により 子ども主体の授業へ

- 1 「箕輪町教育DX推進センター」の活用促進
⇒ICT機器を子どもの学習ツールとして日常的に活用する研究・発信
⇒県教委指定「学びの改革」体験校、文科省指定「デジタルDX校」
⇒自ら課題をみつめ解決する授業でのクラウドの個人活用や共同活用！
- 2 「個別最適化学習」の促進→様々な学習状況対応
⇒学習履歴の蓄積（学習e+）及び最適な課題（ドリル型教材）等
- 3 「協働学習」の発展・深化→調べ学習等の個別学習→共同探究→発表
⇒クラウド活用による協働探究の発展・深化
⇒個人探究、グループ探究の経過を全体学習での見える化と記録蓄積
- 4 「1人1台PCの日常活用」⇒振り返り、学習履歴、家庭学習で活用
⇒指導内容（学年別・教科別計画）、TFA、防犯対策、デジタルリテラシー

令和6年度

ふるさと箕輪を愛し 自ら人生を切り拓いていくことも

A 「グレードアップPLAN」で自己肯定感を醸成 「箕輪町子ども子育て応援条例」を反映

- 1 「奮気」の「シャワー」日々の授業で「ふるさと」のふるさとを育む相互の認め合い→Q・Uをもとにした温かな学級づくり
⇒「グレードアップPLAN」の家庭との共有 →学校と家庭が共通意識で子どものよさを伸ばすための連携
⇒子どもの自己肯定感を醸成！
- 2 「学びの保障」⇒適切な就学判断の実施 →特別支援教育の充実、通常学級でのインクルーシブ教育の推進
⇒不登校を未然に防ぐための学級づくりと子ども主体の授業
⇒不登校児童生徒の支援のための複数の居場所の確保（町中間教室、中学校「ステップルーム」「F組」、民間施設等）
⇒相談機関、福祉機関、医療機関等との連携による生徒理解と対応

D 地域の歴史・文化・自然・産業・人々から学ぶ ふるさと学習・「箕輪学」
～地域への愛着と誇りを育てる教育の推進～

- 1 「ふるさと学習」（小・中学校）推進⇒「地域を知る」の第一歩
⇒町内保育園実施の「やま保育」からの発展→それぞれの小学校区の自然、文化、歴史、人、産業等から学ぶ学習
- 2 「箕輪学」（小・中学校）の推進⇒各学級テーマをもとに課題を見つけて解決していく取り組み
⇒箕輪町を学ぶ、かかわる人との関わりを通して学びを深め、それぞれに学んだことを発信していく
- 3 「キャリア教育」の推進⇒「ひと、もの、こと」と関わり、ふるさと箕輪への愛着をもち、誇りに思う心育を育てる活動
⇒「箕輪で働く人」との関わりによりその人の想いに触れる→小学校の総合、中学校の「わくワークのみわ」、職場体験学習、産業フェア、キャリア教育フォーラム等

地域を知り、地域に学び、地域を愛する！

令和6年度学校教育の基本方針リーフレット

子育てサポートの課題への 今後の取り組みは

きたの
北野 めぐみ 議員

町長 支援策が十分浸透するよう努める



議員 子育てサポートは働く女性の仕事と育児の両立を手助けし、時間的、精神的、肉体的負担を大変軽くするものである。町では多くの支援策が策定されているが、その課題と今後の取り組みは。

町長 町が実施する子育て支援策が全てのご家庭に対して十分浸透しないという課題がある。こども家庭センターの保健師、またこども家庭相談員がもっと身近な存在でなければいけない。これらの支援員による出張こども相談室を新たに実施する必要があると思っている。

産後ドゥーラについての 考えは

議員 母親をサポートする産後ドゥーラという専門知識を持ったスペシャリストの存在が注目されつつある。このサービスについてどのように考えているか。また、資格取得のための支援については。

こども未来課長 一般社団法人ドゥーラ協会で民間の資格として立ち上がり、産後の母子の家事支援や育児の支援を行い、食事づくりや掃除、洗濯、赤ちゃんの世話や

母親のサポートをしている。資格の取得者は、上伊那を訪問エリアとしている方の2人ほど登録がある。しかし、町としては、産後ドゥーラ以外に様々な産後支援を実施しており、産後ドゥーラの資格が個人的な範囲であると考えられるため、資格取得に対する支援については現時点では予定をしていない。

ライフステージに応じた 女性の健康支援は

議員 思春期の生徒の約8割が月経関連疾患により勉強及び体育等に影響を与えている。小中学校の女子児童生徒への健康支援をどのように進めているか。

教育長 発達段階に応じた指導を行っている。例えば、中学校で生理に関して体の不調時にどうするかを養護教諭から話をする時間を取り、全体指導の後、個別の悩みを相談できるように保健室で常に受け付けをしている。日常的に目を配り、家庭とも共有して行うこと、学校ですること、専門家をお願いすることを整理して、個別に対応できるように取り組んでいる。

議員 健康経営の観点から働く女性の健康支援について、特に女性のがん対策の現状と取り組みは。

健康推進課長 健康相談事業として、妊娠出産後の健康管理や、月経困難症、更年期障害などライフステージに応じた相談ができるよ

う体制を整備している。また、がん検診の受診体制が整備されている。乳がん検診、子宮がん検診といった女性特有のがん検診について、商工会や企業と連携をした受診勧奨、無料クーポンの配布など受診しやすい体制づくりに努めている。

オンライン診療導入に 関する町の考えは

議員 患者側の通院負担の軽減や感染リスクの低減、医療機関側としては患者の治療の継続や院内の業務が効率化されるというメリットのあるオンライン診療についてどのように考えているか。

町長 伊那市がモデル的に進めているモバイル診療は理解ができるので、一つの方法論としてはありと考えているが、現時点で行政がオンライン診療を進めるための施設整備などの働きかけは、今のところ必要ないのではないかと。



その他の質問

- 小1の壁について、町の実態は
- 学童保育の預り時間の現状と課題は
- 課題に対する町としての対策は



災害時、アパートの 常会未加入者はどうなる

てらだいら しゅうこう
寺平 秀行 議員

町長 対応策を考えたい



議員 箕輪町議会では町民との意見交換会を実施した。出された意見は多岐にわたり、議会に対するもの、町に対するもの、広域行政に関するものなど様々だった。常会未加入の現状と最新の状況は。

町長 常会の加入状況について、直近のデータは整理中だが、過去の数字で、各常会の加入率は、全戸配布数を行政の基本台帳の世帯数で割った数値で見ると、令和4年4月時点で66.6%、令和5年が65.1%、令和6年が64.7%と、徐々に減少傾向にある。一方、区長に依頼して集計した、常会加入対象世帯に対する加入率は94.8%となっている。これは、アパート等の集合住宅を除いた数値であり、現実には約400戸の戸建住宅が未加入の状況だ。区長からも、未加入者が増えて自治会活動がしにくくなっているという意見が寄せられている。常会加入は個人の判断によるものだが、その必要性やメリットを周知し、加入促進に努めていく必要がある。

議員 常会加入対象世帯の加入率は高いものの、アパート居住者が対象外とされていることが課題ではないかと考えている。特に災害時の対応において、アパート居住者の常会未加入が問題となる可能性がある。また、アパートオーナーが町外在住であるケースや、不動産会社を通じた管理が一般的であることを踏まえると、対応策を検討する必要があるのではないかと。

町長 この問題については、防災だけでなく、ごみの管理、青少年育成、地域活動への参加といった観点からも重要だと認識している。一方で、アパート居住者は短期間で転居するケースも多く、どのように地域活動に関与してもらうかは難しい課題だ。しかし、町民として地域に溶け込み、活動に参加してもらうことが望ましいため、対応策を考えていきたい。

新興住宅地における道路 整備や消火栓の設置は

議員 町全体では人口減少が進んでいるが、地域によっては住宅建設が活発な場所もある。意見交換会では、新興住宅地の道路整備や消火栓設置に関する意見があった。現状の取り組みは。

町長 近年、大規模な宅地造成が減り、小規模な宅地開発が主流となっている。都市計画法の開発行為に該当する大規模開発であれば道路整備も進むが、小規模開発では宅地造成のみが行われ、道路整備が後回しになることが課題だ。また、農地転用の制約があり、広範囲の道路整備が難しい状況である。町としては、宅地開発時に開発業者に道路整備を依頼し、町へ寄附してもらう形で道路認定を行っている。消火栓についても、開発行為に伴う防火設備の設置が義務付けられているが、小規模開発では設置義務がないため、各区

の要望を受けて対応していく方針だ。

もみじ湖観光の 課題と取り組みは

議員 観光戦略において、経済効果と旧長岡新田地区住民の思いの継承が重要だと考える。町長の考えは。

町長 もみじ湖は上高地や諏訪湖のような観光地化を目指すものではなく、水資源としての役割を第一に考えている。しかし、訪れる人が増えているため、受け入れ体制の整備は必要だ。観光地としての経済効果を生むには、訪問者が地域で買い物をし、飲食を楽しむ仕組みを整えることが重要だ。その一方で、旧長岡新田地区の住民の思いを尊重する必要もある。ただし、時代に即した形で継承していくべきだと考えている。



その他の質問

- 物価高騰対策
- 産業用地の開発計画
- 学校の1人1台パソコンの更新
- 地域おこし協力隊について
- 部活の地域移行について

住民懇談会

と き：令和7年2月17日(月)
ところ：みのわBASE

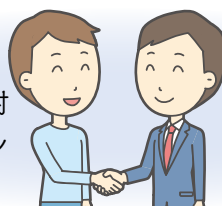
箕輪町議会は町民との「議員と語ろう」住民懇談会を開催しました。町民と議員が直接意見を交わす場として、対話型の部屋、ワールドカフェ形式の部屋、自由に意見を貼り付けられる付箋の部屋の3つのスペースを設けました。

当日は10代から70代までの町民約30人が参加し、活発な意見交換が行われました。



住民の声

今日のように議員と対話できる機会を継続してほしい。



議会の思い

今後も、町民と接点を持つ取り組みをしていきます。

対話型の部屋

※一部を紹介

住民の方 ▶

議員

自治会、医療、防災、観光、森林管理、議会のあり方に関する多くの意見が寄せられました。

- ❶ ダムを作る時、「きれいな紅葉の中のきれいな水を飲んでほしい」という思いで立ち退いた。シャトルバスなどで観光に力を入れているが、費用対効果は出ているのか？
- ❷ 町は、観光ではなく地元の渋滞解消に力を入れている。思いが次世代につながるといい。
- ❸ 友人がアキレス腱を切ったが、伊那中央病院から「70歳以上は手術できない」と帰された。患者を大事にしていないのでは？
- ❹ 中央行政組合の委員会に出た際に、状況を確認してみる。
- ❺ 常会に入っていない人が、ゴミを分別しないで出して苦労している。引っ越してくる人への加入を徹底できないか。
- ❻ 町職員が加入を勧めているが、法律上強制はできない。

ワールドカフェの部屋

※一部を紹介

議員 ▶

住民の方

「箕輪町の良さは?」「住みたい、帰りたくなる町とは?」「地域行事やイベントを盛り上げるには?」等で対話し、交流を深めました。

- ❶ 箕輪町の良さは？
- ❷ 景色がきれい・区の中や近所同士、仲が良い・小学校の数が多いのでクラスが少人数・人が優しくおだやか・コンパクトにまとまっている
- ❸ 住みたい、帰りたくなる町とは？
- ❹ お米や野菜がおいしい町・カラオケ店がある町・人が優しく温かい町・自然がきれいだから維持してほしい・若者目線の町づくりをする町
- ❺ 地域のイベントを盛り上げるには？
- ❻ 町民一発芸大会を開催・役場から八十二銀行まで御柱を曳く・議員の踊ってみた動画サイトを開設・他地区のお祭りに参加・山菜やきのこ採りを地元の方に教えてもらう・野外音楽会&映画祭 など



当日出された意見の概要は、箕輪町議会のホームページで閲覧できます。



仕掛け人は町民 みんなのパワーが町を変える

自治チカラ Vol.5

南アルプスと仙丈ヶ岳が望める、
町の絶景スポット「^{はなももかいどう}花桃街道」

毎年紅白の花を楽しませてくれる1,200本のハナモモは、県道与地・辰野線の長田から伊那市境までの全長約6kmに及びます。

国土交通省「日本風景街道」として認定を受けた「信州みのわ花街道」は、2007（平成19）年に設立された、信州みのわ花桃街道推進協議会ボランティアメンバーの活動により、街道の景観整備と地域活性化を



目指し、ハナモモをはじめ、草花の植栽、下古田展望台の花壇整備などが行われてきました。

植樹から18年経ったハナモモの木は、毎年、愛知や静岡などの遠方からも観光客が訪れるほど見事に成長し、箕輪町自慢の観光スポットになっています。しかし、近年大きく育った木の枝が道路際にまで伸び、定期的な整備が必要となってきました。

活動は、早朝からメンバーたちが町の活性化と、花街道の美しい景色に喜ぶ人たちの顔を思い浮かべながら、日々お手入りに精を出しています。

ここを守りたい新規メンバーも随時募集しています。



モニターの声 91号を読んで



- ・表紙が良かった。
- ・中学生が鋭く世の中の事、思いを持って町のことを考える様子が伺え嬉しかった。併せて議員の皆さんの考えも分かり良かった。

・行政視察は興味深かったが、箕輪町にどうフィードバックするのか、議員たちの考察、意見も聞きたい。

・一般質問ページが一人半ページというボリュームはよかった。一般質問の内容を見ると、議員全員の内容を載せるより、取捨選択でよいのではと思う。

・寒冷地手当などを含む地方公務員の給与の仕組みをもっと知りたいと思った。



ご意見・ご要望
入力フォーム

あなたも「議会だより」モニターしてみませんか？



議会だよりに関するご意見がありましたらお寄せください。

6月定例会の日程(予定)

6月 2日(月)	開会
9日(月)	一般質問
10日(火)	一般質問
11日(水)～13日(金)	委員会審査
17日(火)	閉会

編集後記

特集は、令和7年度予算。長い時間をかけた議論のすべては伝わらないのですが、少しでも関心を持っていただける編集にしています。新体制で製作した議会だよりも、このメンバーでお届けする最終号となりました。政治に興味のない人も、ページをめくりたくなる広報へと、委員全員で改革に取り組んだ2年でした。様々なご意見も参考に、今後も「知りたいことがわかる」「議会を身近に感じることができる」誌面にしていきます。

(中野 友美)

〔議会広報特別委員会〕

中野 友美 (委員長) 白鳥 真吾 (副委員長)
南 朋子 平出 広志 小口 智世

議会事務局

電話 0265-79-3187(直)

お問い合わせフォームはコチラ▶

